



安全データシート

ダウ・ケミカル日本株式会社

化学品の名称: BETACLEAN ™ 3300

発行日: 2016/11/30

印刷日: 2017/05/01

ダウ・ケミカル日本株式会社は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。使用条件によって他の対応を必要とする場合以外は、記載注意事項を遵守されるようお願い致します。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: BETACLEAN ™ 3300

推奨用途及び使用上の制限

特定された用途: 洗浄剤。自動車用途への使用。

会社情報

ダウ・ケミカル日本株式会社

140-8617

東京都品川区東品川2丁目2番24号

天王洲セントラルタワー

会社電話番号:

03-5460-2100

SDSQuestion@dow.com

緊急連絡電話番号

24時間対応緊急連絡先: 0120-00-1017

緊急連絡電話番号: 0120-00-1017

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

引火性液体 - 区分 3

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 - 区分 2A

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語: 警告!

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気。

強い眼刺激。

注意書き

安全対策

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地すること/アースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

火災の場合: 消火するために乾燥砂, 粉末消火剤(ドライケミカル)または耐アルコール性フォームを使用すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

他の有害危険性

データなし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名	CASRN	化審法番号	安衛法番号	濃度又は濃度範囲
水	7732-18-5	適用外	適用外	> 80.0 - < 90.0 %
イソプロピルアルコール	67-63-0	(2)-207	2-(8)-319	> 5.0 - < 15.0 %

エチレングリコールモノブチルエーテル 111-76-2

(2)-407 (2)-407

< 10.0 %

4. 応急措置

必要な応急措置

一般的アドバイス: 応急措置担当者は自分の安全確保に注意を払い、推奨されている防護服(耐薬品手袋、飛沫防護)を使用する。ばく露する可能性がある場合は、第8項の保護具の情報を参照。

吸入: 新鮮な空気の場所に移動させる。呼吸停止の時は人工呼吸を施す。マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具(ポケットマスクなど)を使用する。呼吸困難の時は、有資格者が酸素吸入を行う。医師を呼ぶか、医療機関に搬送する。

皮膚接触: 多量の水で洗い流す。

眼に入った場合: 直ちに水で眼を洗い流す。コンタクトレンズを装着している場合は、洗い始めて5分経ってからはずし、さらに15分以上洗眼を続ける。迅速に医師の診察を受ける。眼科医が望ましい。すぐに使用できる適切な緊急用洗眼設備を設置すること。

飲み込んだ場合: 嘔吐させない。直ちに医師の診察を受けるか、救急病院に搬送する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状: 上記の応急措置の記述、下記の緊急治療及び必要とされる特別処置の指示に記載されている情報に加えて、重要な症状や影響は項目11の有害性情報に記載されている。

緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

医師に対する特別な注意事項: 患者に十分な換気および酸素吸入を維持すること。かなりの量を経口摂取し患者が中毒の徴候を示している場合は、血液透析が有用であると思われる。継続する低血圧や標準治療では対応できない昏睡状態の患者には、血液透析を検討する(イソプロパノール濃度>400-500mg/dlの場合)。(Goldfrank, Toxicological Emergencies 7th ed., 2002; King, JAMA, 1970, 211:1855) 特別な解毒剤はない。ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。皮膚接触により既存の皮膚炎が悪化することがある。過剰暴露を繰り返すと、既存の血液疾患(貧血)が悪化することがある。

5. 火災時の措置

消火剤: この物質は不燃性である。別の発火源による火災にさらされた時は、その火災に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤: データなし

特有の危険有害性

有害燃焼副産物: 非該当

異常な火災および爆発の危険: データなし

消防士へのアドバイス

消火手順: 人々を避難させる。火を隔離して関係者以外の立ち入りを禁止する。この物質は不燃性である。他の燃えている物質の消火にあたる。

消火を行う者の保護: 陽圧式自給式呼吸器 (SCBA) および防火服 (防災ヘルメット、コート、ズボン、長靴および手袋を含む) を着用する。保護具が入手できないか使用できないときは、保護された場所から、または安全な距離をおいて消火活動を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 場所を隔離する。不必要な人や保護具を装着していない人の、その場所への立ち入りを禁止する。流出物の風上にいること。漏れたり流出した場所を換気する。場所内は禁煙とする。火災や爆発を回避するため、流出物または放出された蒸気の近くから着火源となるものをすべて除去する。蒸気爆発の危険がある。下水道に混入させない。項目 7 の取扱い注意事項を参照。適切な保護具を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

環境に対する注意事項: 土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。項目 12 の環境影響情報を参照。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 不燃性物質。可能なら、漏出物は回収する。以下の物質で吸収させる: 猫用のトイレ砂。砂。おが屑。正しくラベルの貼ってある適切な容器に回収する。追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 熱、火花、炎から遠ざける。取り扱い場所および保管場所は禁煙、裸火および着火源は禁止とする。すべての設備にアースをとる。作業の種類に応じて、防爆装置の使用が必要になると思われる。空になったとしても容器は蒸気含有していることがある。空の容器やその近くで、切断、ドリル、研磨、溶接等の作業を行わないこと。眼、皮膚、衣服との接触を避ける。蒸気の吸入を避けること。取り扱った後は十分に洗うこと。容器を閉じて保管すること。使用時には換気を十分に確保する。項目 8 のばく露防止及び保護措置を参照。

保管: GMP (製造および品質管理に関する基準) に従って保管する。

保管安定性

保管温度:

> 5 - < 25 °C

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

ばく露限界値が存在する場合は以下に記載されている。

化学名	国際規制	リストのタイプ	数値/注記
イソプロピルアルコール	ACGIH	TWA	200 ppm
	ACGIH	STEL	400 ppm
	ACGIH	TWA	BEI

	ACGIH	STEL	BEI
	Dow IHG	TWA	150 ppm
	Dow IHG	STEL	300 ppm
	安衛法 (管理濃度)	ACL	200 ppm
	日本産業衛生学会 (許容濃度)	OEL-C	980 mg/m ³ 400 ppm
エチレングリコールモノブ チルエーテル	ACGIH	TWA	20 ppm
	ACGIH	TWA	BEI
	安衛法 (管理濃度)	ACL	25 ppm

曝露防止

工学的制御: 空气中濃度が許容濃度以下に保てるよう制御する。許容濃度が設定されていない場合、適切な全体換気を行う。一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

保護具

呼吸用保護具: 許容濃度を超える可能性がある場合は、呼吸器用保護具を着用する。許容濃度が未設定の場合、認可された呼吸器用保護具を使用する。特定の作業や物質の空气中濃度の可能性に応じて、空気清浄呼吸器又は陽圧送気マスクを選定する。緊急時には、認可された陽圧自給式呼吸器を使用する。密閉した場所または換気の不十分な場所では、認可された自給式呼吸器を使用するか、補助空気ボンベ付陽圧エアラインを使用する。

以下は効果的な空気清浄呼吸器の種類である: 有機ガス用

手の保護具: 長時間または何度も繰り返し接触する可能性がある場合は、この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例: ブチルゴム。ポリエチレン。ネオプレン。塩素化ポリエチレン。天然ゴム(ラテックス)。ポリ塩化ビニル(PVCまたはビニル)。ニトリル/ブタジエンゴム(ニトリルまたはNBR)。エチルビニルアルコールラミネート(EVAL)。次の素材の手袋を避ける: ポリビニルアルコール(PVA) 注意: 特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある: 取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件(切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護)、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

眼の保護具: ケミカルゴーグルを使用する。ばく露により眼に不快感がある場合は、フルフェイス型呼吸器を使用する。

皮膚及び身体の保護具: 清潔で、長袖の、全身を覆う衣服を着用する。

9. 物理的及び化学的性質**外観**

物理的状態	液体
色	青色
臭い	アルコール類
臭いの閾値	データなし。
pH	8.5 計算値。
融点・凝固点	データなし
凝固点	データなし
沸点 (760 mmHg)	100 °C 文献

引火点	密閉式引火点試験 37.0 ° C 消防法試験 39 ° C 密閉式
蒸発速度(ブチルアセテート=1)	データなし。
燃焼性(固体、気体)	非該当
爆発範囲の下限	データなし。
爆発範囲の上限	データなし。
蒸気圧	データなし。
相対蒸気密度(空気=1)	1 推定値。
比重・相対密度(水=1)	0.98 @ 20 ° C 計算値。
水への溶解度	可溶性
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし。
分解温度	分解しない。
動的粘度	データなし。
動粘度	データなし。
爆発特性	データなし。
酸化特性	データなし。
分子量	データなし
揮発性有機化合物	データなし。

注記: 上記の物理データは、代表値であり、仕様として解釈されるべきものではない。

10. 安定性及び反応性

反応性: データなし

化学的安定性: 安定している。

危険有害反応可能性: 重合は起こらない。

避けるべき条件: 知見なし。

混触危険物質: 知見なし。

危険有害な分解生成物: 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。

11. 有害性情報

本項にはデータが存在する場合に毒性情報が記載される。

急性毒性

急性毒性(経口)

誤飲した場合、弱い毒性を示す。通常の作業での誤飲では傷害は起こらないであろう。ただし、大量に誤飲すると傷害を引き起こすことがある。中枢神経系機能低下を起こすことがある。吐き気や嘔吐を起こすことがある。過剰暴露による徴候および症状は以下を含む：顔面紅潮 低血圧。不整脈。少量成分について：動物では、以下の器官に有害作用を及ぼすことが報告されている：血液(溶血)や、腎臓および肝臓への二次作用。ヒト赤血球は、げっ歯類およびウサギの赤血球よりも溶血に対する感受性が顕著に低いことが明らかにされた。単回経口投与のLD50のデータなし。

急性毒性（経皮）

長時間の皮膚接触で、有害量を吸収することはないであろう。
経皮LD50は決定されていない。

急性毒性（吸入）

換気が良ければ、一度の暴露で有害な影響はないであろう。物質が加熱されたり、換気が悪い場所では、蒸気・ミストが蓄積し、呼吸器を刺激するかも知れない。長期間過剰暴露すると、有害影響を起こすことがある。イソプロパノールへの過剰暴露(400ppm)は、目や鼻、喉に対して刺激作用を示すことがある。長期間または高濃度の暴露により、協調運動障害、意識混濁、低血圧、低体温、循環虚脱、呼吸停止を来すことがあるほか、死亡することもある。動物での観察所見では、イソプロパノール蒸気への暴露による中耳上皮の障害があった。しかし、この件がヒトへの関連性は不明である。少量成分について：動物では、以下の器官に有害作用を及ぼすことが報告されている：血液(溶血)や、腎臓および肝臓への二次作用。ヒト赤血球は、げっ歯類およびウサギの赤血球よりも溶血に対する感受性が顕著に低いことが明らかにされた。
LC50は決められていない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

長期間接触すると、局所発赤を伴う皮膚刺激作用を起こすことがある。
皮膚の乾燥および剥離を引き起こすことがある。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

眼組織への刺激の程度に不釣合な痛みを引き起こすことがある。
中等度に眼を刺激することがある。
中等度の角膜損傷を起こすことがある。
蒸気は軽度の不快感や充血を伴い眼を刺激することがある。
蒸気は流涙症を起こすことがある。

感作性

皮膚感作性：
試験した成分について：
モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

呼吸器感作性：
関連のあるデータは得られていない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

特定標的臓器毒性（単回ばく露）区分3に分類される成分を含有する。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

動物で下記の臓器に影響があると報告されている成分を含有する:

腎臓。

肝臓。

動物にみられる所見には以下のものがある:

倦怠感。

オスラットにおいて、腎臓への影響および・または腫瘍が認められている。このような影響はある特定の種に対するものであり、ヒトでは起こらないと考えられる。

動物では、以下の器官に有害作用を及ぼすことが報告されている: 血液(溶血)や、腎臓および肝臓への二次作用。

ヒト赤血球は、げっ歯類およびウサギの赤血球よりも溶血に対する感受性が顕著に低いことが明らかにされた。

発がん性

エチレングリコールブチルエーテルに関する長期動物試験で、多くはないが統計的に有意な腫瘍の増大がマウスに認められたが、ラットにはみられなかった。この作用がヒトにあてはまるとは考えられない。この物質が適正な産業上の取り扱い手順に従って取り扱われていれば、暴露してもヒトに対する発がんリスクをもたらすことはない。

催奇形性

試験動物では、イソプロパノールは、母体に毒性のみられる用量において胎児に対する毒性が認められた。動物試験で催奇形性のなかった成分を含有し、他の胎児影響は、母体に有毒な摂取量の場合のみ起こった。

生殖毒性

成分に関する動物試験では、親動物に重大な毒性を示す用量でのみ生殖への有害影響が認められた。

変異原性

インビトロ遺伝毒性試験で陰性だった成分を含有。動物遺伝毒性試験で陰性だった成分を含有。

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性には分類されていない

毒性分析に影響を与えるコンポーネント:

イソプロピルアルコール

急性毒性(経口)

中枢神経系機能低下を起こすことがある。過剰暴露による徴候および症状は以下を含む: 顔面紅潮 低血圧。不整脈。吐き気や嘔吐を起こすことがある。

LD50, ラット, 5,840 mg/kg OECD 401 あるいはそれに準じる方法

急性毒性(経皮)

LD50, ウサギ, > 12,800 mg/kg

急性毒性(吸入)

動物での観察所見では、イソプロパノール蒸気への暴露による中耳上皮の障害があった。しかし、この件がヒトへの関連性は不明である。イソプロパノールへの過剰暴露(400ppm)は、目や鼻、喉に対して刺激作用を示すことがある。長期間または高濃度の暴露により、協調運

動障害、意識混濁、低血圧、低体温、循環虚脱、呼吸停止を来すことがあるほか、死亡することもある。

LC50, ラット, オスおよびメス, 6 h, 蒸気, > 10000 ppm

エチレングリコールモノブチルエーテル

急性毒性（経口）

動物では、以下の器官に有害作用を及ぼすことが報告されている：血液（溶血）や、腎臓および肝臓への二次作用。ヒト赤血球は、げっ歯類およびウサギの赤血球よりも溶血に対する感受性が顕著に低いことが明らかにされた。LD50, モルモット, 1, 400 mg/kg

LD50, ラット, 1, 300 mg/kg

急性毒性（経皮）

げっ歯類やウサギと異なりヒトとモルモットは血液影響の耐性がある。このような理由から、モルモットのデータはヒトへの急性毒性評価に適しているとされ急性毒性分類に用いられる。LD50, モルモット, > 2, 000 mg/kg

急性毒性（吸入）

動物では、以下の器官に有害作用を及ぼすことが報告されている：血液（溶血）や、腎臓および肝臓への二次作用。ヒト赤血球は、げっ歯類およびウサギの赤血球よりも溶血に対する感受性が顕著に低いことが明らかにされた。LC0, モルモット, 1 h, 蒸気, > 3.1 mg/l この濃度では死に至らない。

12. 環境影響情報

本項にはデータが存在する場合に生態毒性情報が記載される。

生態毒性

イソプロピルアルコール

魚類に対する急性毒性

物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない（試験した種のうち最も感受性の高い種でLC50/EC50/EL50/LL50 > 100 mg/L）。

LC50, *Pimephales promelas*（ファットヘッドミノウ）, 流水式試験, 96 h, 9, 640 mg/l, OECD テストガイドライン 203 あるいは同等のもの

無脊椎動物に対する急性毒性

LC50, *Daphnia magna*（オオミジンコ）, 止水式試験, 24 h, > 1, 000 mg/l, OECD テストガイドライン 202 あるいは同等のもの

藻類/水生植物に対する急性毒性

最大無影響濃度, 藻（*Senedesmus* sp.）, 止水式試験, 7 d, 成長阻害, 1, 800 mg/l

ErC50, 藻（*Senedesmus* sp.）, 止水式試験, 72 h, 生長率阻害, > 1, 000 mg/l

細菌に対する毒性

EC50, 活性汚泥, > 1, 000 mg/l

無脊椎動物に対する慢性毒性

最大無影響濃度, *Daphnia magna* (オオミジンコ), 半静止試験, 21 d, 30 mg/l

エチレングリコールモノブチルエーテル**魚類に対する急性毒性**

物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない(試験した種のうち最も感受性の高い種で LC50/EC50/EL50/LL50 >100 mg/L)。

LC50, *Oncorhynchus mykiss* (ニジマス), 止水式試験, 96 h, 1,474 mg/l, OECD 試験ガイドライン 203

無脊椎動物に対する急性毒性

EC50, *Daphnia magna* (オオミジンコ), 止水式試験, 48 h, 1,550 mg/l, OECD 試験ガイドライン 202

藻類/水生植物に対する急性毒性

EbC50, *Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻), 止水式試験, 72 h, バイオマス, 911 mg/l, OECD 試験ガイドライン 201

細菌に対する毒性

IC50, バクテリア, 成長抑制, > 1,000 mg/l

魚類に対する慢性毒性

最大無影響濃度, *Danio rerio* (ゼブラフィッシュ), 半静止試験, 21 d, > 100 mg/l

無脊椎動物に対する慢性毒性

最大無影響濃度, *Daphnia magna* (オオミジンコ), 半静止試験, 21 d, その他, 100 mg/l

残留性・分解性**イソプロピルアルコール**

生分解性: 物質は易分解性である。OECD 易分解性試験に合格している。

10-day Window: 合格

生分解: 95 %

曝露時間: 21 d

方法: OECD テストガイドライン 301E あるいは同等のもの

10-day Window: 合格

生分解: 53 %

曝露時間: 5 d

方法: 他のガイドライン

理論酸素要求量: 2.40 mg/mg 推定値。

化学的酸素要求量: 2.09 mg/mg 推定値。

生物学的酸素要求量 (BOD)

培養時間	BOD
5 d	20 - 72 %

20 d	78 - 86 %
------	-----------

光分解性

試験タイプ: 半減期 (間接光分解)

感作性物質: OH ラジカル

大気中半減期: 1.472 d

方法: 推定値。

エチレングリコールモノブチルエーテル

生分解性: 物質は易分解性である。OECD 易分解性試験に合格している。物質は最終的に生分解性である。OECD の本質的生分解性試験では無機化が 70%超に達する。

10-day Window: 合格

生分解: 90.4 %

曝露時間: 28 d

方法: OECD テストガイドライン 301B あるいは同等のもの

理論酸素要求量: 2.30 mg/mg

化学的酸素要求量: 2.21 mg/g 重クロム酸塩

生物学的酸素要求量 (BOD)

培養時間	BOD
5 d	5.2 %
10 d	57 %
20 d	72.2 %

生体蓄積性**イソプロピルアルコール**

生体蓄積性: 生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 または Log Pow < 3)

n-オクタノール/水分配係数(log Pow): 0.05 測定値

エチレングリコールモノブチルエーテル

生体蓄積性: 生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 または Log Pow < 3)

n-オクタノール/水分配係数(log Pow): 0.81 測定値

生物濃縮因子 (BCF) : 3.2

土壌中の移動性**イソプロピルアルコール**

土壌中移動性がきわめて大きい(Koc 0~50)。

分配係数 (Koc): 1.1 推定値。

エチレングリコールモノブチルエーテル

土壌中移動性が大きい(Koc 50~150)。

分配係数 (Koc): 67 推定値。

オゾン層への有害性

イソプロピルアルコール

この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

エチレングリコールモノブチルエーテル

この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響

イソプロピルアルコール

この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

エチレングリコールモノブチルエーテル

この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法:「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び地方条令に定められた方法に従って、焼却等の処理を行う。委託する場合は、許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器及び包装: 廃容器は内容物を十分除去した後に、法規に従い廃棄する。

14. 輸送上の注意

道路及び鉄道輸送に関する分類 (ADR/RID) :

Not regulated for transport

海上輸送に関する分類 (IMO-IMDG) :

Not regulated for transport

MARPOL 73/78 の Annex I

または II および IBC また

は IGC コードに従い積荷を

運搬する。

Consult IMO regulations before transporting ocean bulk

航空輸送に関する分類 (IATA/ICAO) :

Not regulated for transport

この情報は、この製品に関わる特定の法令や輸送上の条件を全てお知らせするものではありません。輸送分類は容器の大きさや国や地域の法令により異なることがあります。追加情報は、弊社の営業担

当者またはカスタマーサービスより入手してください。この物質の輸送にあたっては、輸送会社の責任において、適用される全ての法律、規制、規則に従ってください。

15. 適用法令

消防法

危険物 第4類第2石油類（水溶性） 指定数量 2000L 危険等級Ⅲ 「火気厳禁」

成分

成分	CASRN
イソプロピルアルコール	67-63-0
エチレングリコールモノブチルエーテル	111-76-2

労働安全衛生法

安衛法 (ISHL) リスト この製品は、有害性調査制度（化学物質登録制度）を遵守しています。

安衛法 危険物 引火性の物

安衛法 特化則 該当しない。

安衛法 有機則 第2種有機溶剤等

成分	CASRN	濃度又は濃度範囲
----	-------	----------

イソプロピルアルコール	67-63-0	> 5.0 - < 15.0%
安衛法 表示対象物質		

成分	CASRN	濃度又は濃度範囲
----	-------	----------

イソプロピルアルコール	67-63-0	> 5.0 - < 15.0%
エチレングリコールモノブチルエーテル	111-76-2	< 10.0%
安衛法 通知対象物質		

成分	CASRN	濃度又は濃度範囲
----	-------	----------

イソプロピルアルコール	67-63-0	> 5.0 - < 15.0%
エチレングリコールモノブチルエーテル	111-76-2	< 10.0%

化管法 (PRTR 法)

該当しない。

毒物及び劇物取締法

該当しない。

化審法 - 既存化学物質及び新規化学物質リスト (ENCS)

意図的使用成分はすべてインベントリー収載済みなし収載免除ないし供給元認証となっている。

16. その他の情報

改定

ID 番号: 101213635 / A151 / 発行日: 2016/11/30 / 版番号: 7.2

最新の改定事項は、この文書全体にわたって、左側の余白にボールド体の二重線で強調してある。

凡例

ACGIH	米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
ACL	管理濃度、基準濃度
BEI	生物学的ばく露指標
Dow IHG	ダウ社内ガイドライン
OEL-C	最大許容濃度
STEL	短時間暴露限度
TWA	時間加重平均
安衛法 (管理濃度)	作業環境評価基準、健康障害防止指針
日本産業衛生学会 (許容濃度)	日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度

ダウ・ケミカル日本株式会社は、お客様や(M)SDSの受領者の皆様が、この(M)SDSの掲載データや、この製品に伴う危険有害性を認識し理解するために、(M)SDSを慎重に検討され、必要に応じて適宜しかるべき専門家にご相談されるようお願いしております。掲載内容は誠意をもって提供したものであり、上述の発効日の時点で正確なものであると考えております。ただし、明示および黙示の保証を行うものではありません。法令の要求事項は、改正されたり、地域により異なることがあります。使用に関する適用法令の遵守は使用者の責任です。ここに掲載された情報は出荷した製品についてのもので、製造会社は製品の使用条件について関知するところではありませんので、製品の安全な使用条件は、使用者の責任において決定して下さい。各製造会社固有の(M)SDSなどの情報源が増加していますが、弊社は弊社以外の製造会社から入手した(M)SDSに関しては一切責任を負いません。他の情報源から入手した(M)SDSをお持ちの場合や、お手元の(M)SDSが最新版であるという確信が持てない場合は、弊社にご連絡ください。